



2024年2月13日

各位

会社名 ポート株式会社
代表者名 代表取締役社長 CEO 春日博文
(コード番号：7047 東証グロース・福証Q-Board)
問い合わせ先 常務執行役員 辻本拓
財務IR部長
TEL. 03-5937-6466

株主還元方針の策定（累進配当の導入）及び配当予想の修正（配当開始）に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において新たな株主還元方針を策定し、累進配当※を導入すること及び期末配当を開始することを決議し、未定として公表しておりました2024年3月期の期末配当予想を修正しましたので、下記のとおりお知らせいたします。

※累進配当：原則として短期的な業績変動においても減配をせず、配当の維持もしくは増配を行う配当政策

記

1. 株主還元方針変更の理由

当社は、株主の皆様への利益還元を重要な経営課題のひとつとして認識しておりますが、成長過程にあるため、内部留保の充実と積極的な成長投資により企業価値を高めることが、株主の皆様に対する最大の利益還元につながるものの方針のもと、配当を実施していませんでした。

積極的な成長投資の結果、2020年9月に公表した中期経営計画の目標である売上収益100億円、EBITDA20億円を前期（2023年3月期）達成、中計期間の売上収益CAGR55.6%の成長を実現し、新たな中期経営計画として2026年3月期での売上収益250億円、EBITDA40億円達成に向けて取り組んでおります。

現状においても、当社が上場しているグロース市場において高い成長が期待されていることを含めて、積極的な成長投資により企業価値を高めることでの利益還元を基本とすることに変更はありませんが、今期（2024年3月期）から販促支援サービスのエネルギー領域を中心に、重点的に取り組んでおりますストック収益（継続的に収益を得るモデル）が着実に伸長していること、財務基盤状況等を鑑み、特に重要なステークホルダーである株主・従業員・社会への三位一体での利益還元プログラムを実行し、株主の皆様への利益還元として、当社初となる剰余金の配当（初配）を実施することといたしました。

利益還元の原資としては、安定的な収益であるストック収益を原資と捉え、ストック収益の増加に伴い継続的な増配（累進配当）を行うことを基本方針としております。

2. 株主還元方針

<株主還元方針>（変更前）

当社は、株主の皆様への利益還元を重要な経営課題のひとつとして認識しておりますが、当面は経営基盤の強化及び積極的な事業展開のために内部留保の充実を図り、財務体質の強化と事業拡大のための投資に充当していくことが株主に対する最大の利益還元につながるかと考えております。

当社は成長過程にあり、財務体質の強化と事業拡大のための投資等を当面の優先事項と捉え、配当を実施しておりません。

内部留保資金につきましては、経営基盤の長期安定に向けた財務体質の強化及び事業の継続的な拡大発展を実現させるための資金として、有効に活用していく所存であります。

なお、剰余金の配当を行う場合には、年1回の期末配当を基本方針としており、配当の決定機関は株主総会であります。また、当社は中間配当を取締役会の決議によって行うことができる旨を定款に定めております。

<株主還元方針>（変更後）

当社は、株主の皆様への利益還元を重要な経営課題のひとつとして認識しております。配当につきましては、財務基盤を安定・強化し、積極的な成長投資に振り向ける一方、ストック収益を利益還元の原資として、ストック収益の増加に応じて継続的な増配（累進配当）を実施してまいります。

内部留保資金につきましては、経営基盤の長期安定に向けた財務体質の強化及び事業の継続的な拡大発展を実現させるための成長投資資金とするほか、重要なステークホルダーである従業員、社会に対しても配当総額に応じて、一定の基準のもと還元してまいりたいと考えております。

なお、剰余金の配当を行う場合には、年1回の期末配当を基本方針としており、配当の決定機関は株主総会であります。また、当社は中間配当を取締役会の決議によって行うことができる旨を定款に定めております。

<三位一体型の利益還元プログラム>

- ・特に重要なステークホルダーである株主、従業員、社会への利益還元を実施し、長期的かつ強固なリレーションシップの構築を目指す。
- ・安定的な収益であるストック収益を利益還元の原資とする（当期純利益ベースの配当性向ベンチマークではない）。
- ・株主の配当についてはストック収益の増加に応じた累進配当とし、継続的な増配の実施を基本とする。※ストック収益を原資とした配当総額を差し引いても、連結営業黒字であることを前提
- ・株主還元（配当総額）に応じて、一定の基準のもと従業員、社会にも適切に還元する。
- ・社会への還元の具体的な還元先、方法等については、サステナビリティ委員会を設置し、委員会にて意思決定する。

	2024/3期	2026/3期
	業績予想	中期経営計画
ストック収益（百万円）	200	800
1株あたり配当金（円）	2	累進配当予定
配当総額（百万円）	26	累進配当予定

なお、上記株主還元方針は、高成長を前提とした東証グロース市場における方針となり、将来的な当社状況に応じて株主還元方針の見直しを行います。

3. 配当予想の内容

2024年3月期の期末配当につきましては、未定としておりましたが、上記方針のもと、1株あたり2円とすることといたしました。

これにより、2024年3月期の年間配当は、1株あたり2円となります。

なお、最終的な剰余金の配当の決定につきましては、2024年6月に開催予定の当社定時株主総会に付議させていただく予定です。

	1株あたり年間配当金 (円)		
	第2四半期末	期末	合計
前回予想	未定	未定	未定
今回発表予想	—	2.00	2.00
当期実績	0.00	—	—
前期実績 (2023年3月期)	0.00	0.00	0.00

以 上